

かけはし

「かけはし」には、
男性と女性、さらには人と人、
行政・家庭・職場・学校・地域などを
互いにつなぎ合う「かけはし（架け橋）」
になれば…との想いが込められています。

掛川市職員を対象に 男女共同参画研修会 [5/23・25 掛川市役所]

今年は「掛川市男女共同参画行動計画」が策定され、全庁あげて施策推進に取り組んでいくため、行動計画の概要や秋山教授（静岡理工科大学）による講義に、約200名の職員らは熱心に耳を傾けていました。世界の先進国の中で、日本は男女共同参画の遅れが目立っているが、男女の性別に関係なく、市民が男女共同参画をよく理解し、各自が生き方を選択して能力を発揮できるような場作りや、“機会の平等”を実現する事がこれからの社会には重要になってくると話されていました。



メンズキッチン [6/22 徳育保健センター]

保健予防課の主催でメンズキッチンが開催されました。2回目となる今回の講座では、約20名の男性が料理作りに挑戦。みんなでワイワイ言いながら料理が出来上がっていくことに満足そうな皆さんでした。参加者の中には、家で作って見たらパートナーに、「味より何よりもその気持ちがうれしい」と喜んでもらえたと話してくださいました。



男女共同参画にちなんだ 川柳・かるた 募集中!

日常のさまざまな事象を男女共同参画の視点で楽しく川柳にしてみませんか？応募作品の中からいくつかを誌面に掲載します。

なお、男女共同参画を身近に感じてもらえるようカルタの言葉も募集中。(字数、形態は自由)

皆様の投稿をお待ちしています。

川柳 (特選)

久しぶり
妻が旅行で
一番湯
(65才男性)

これからは
妻のうしろを
ついて行く
(定年直前夫)

これからの講座 お知らせ

- **男女共同参画セミナー**
『データでみる ^{ひと}暮らしのなかの女と男』
とき 10/17(水) 13:30~15:30
ところ 掛川市役所 4F 会議室
- **新米パパとママのための子育て講座**
『赤ちゃんへのプレゼント
ママの笑顔 パパと過ごす時間』
とき 11/11(日) 10:00~12:00
ところ 徳育保健センター

両講座とも、詳細は「広報かけがわ」9/1号にてお知らせします。

平成19年度 掛川市男女共同参画推進委員会



近藤光博 荒木伊久美 鶴藤千代子 窪野愛子 桑原直子
須田由希子 高橋 毅 藤井康子 河内勇雄 渡辺みどり

道しるべ(行動計画)ができました

男女共同参画、さらなる推進のために!



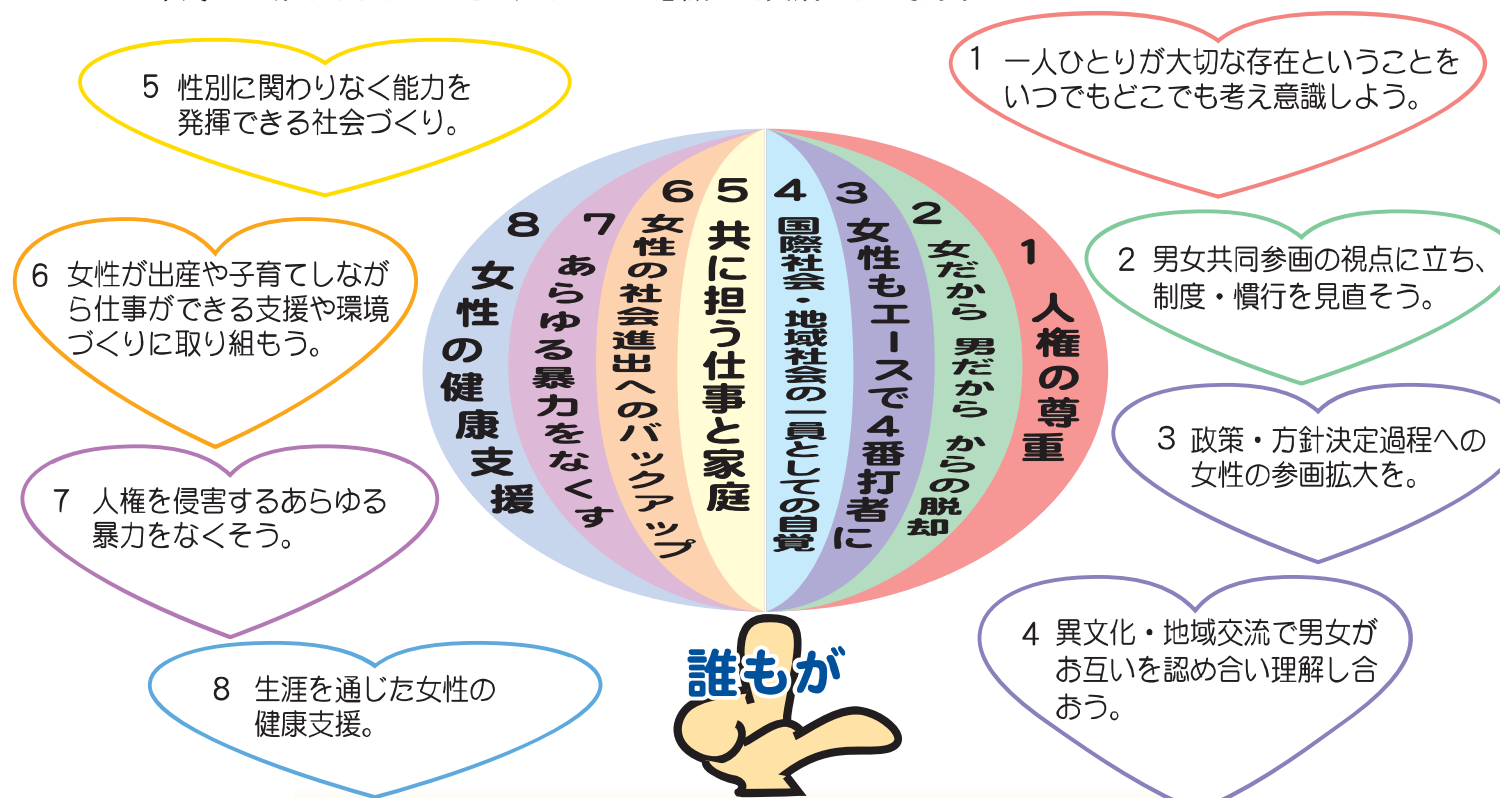
平成18年4月に施行された「掛川市男女共同参画条例」に基づき、だれもが共に生き活きと暮らせる社会を目指して、施策を総合的・計画的に実施するための行動計画が、今年3月に策定されました。

計画の基本理念

1. 男女の人権の尊重
2. 制度及び慣行への配慮
3. 男女が対等に参画する機会の確保
4. 家庭生活と社会生活の両立
5. 国際的協調

「行政力」と「市民力」共に築こう ステキな明日!

目まぐるしい社会経済情勢の変化に対応するために、「男女共同参画社会の実現」は国の最重要課題の一つに挙げられていますが、もちろん私たちの生活にも密接な関わりを持っています。行動計画では推進のための8つの施策が定められています。市民の立場でできることを一人ひとりが意識して実践しましょう。



仕事と生活の調和

思いやり、支え合い笑顔でつながる人と人
誰もが生き活きと幸せに暮らせる掛川市へ

意外と気づいていない“あなたは、浦島太郎かも！！”

～身のまわりの男女共同参画～

ひと昔前、スーパーで男性が買い物していると「奥さんご病気ですか？」と声を掛けられ、お父さんが赤ちゃんを抱いて散歩していると「いったいお母さんは何をしているのかしら？」と非難めいた視線もありました。また、男性が女性の職域に入ったり、女性が従来と違う働きをすると「変わった人」と見られました。

今までと違う場面に接したとき、やや抵抗が生じますが、いいことは自然に受け入れられ、社会は少しずつ変化していきます。ここ数年の間に様々な職業の呼称も変わりました。看護婦は看護師に、保母は保育士に、保健婦は保健師に、などなど。

職業は男女差ではなく適性で選ぶ時代が変わりつつあります。仕事と家事（育児・介護）のバランスも国の政策の中で見直され始めています。ところで、掛川市の「男女共同参画」はどうなっているのでしょうか？ 制度や慣習など変わりにくい面もありますが、目に見える変化を写してみました。



多くなった男性の買い物姿
料理をする男性も増えている



ボーイスカウトへ女兒の入団
男児がガールへはいることはないため、全国的にガールスカウトが衰退している



10年前に取材した“女性のタクシー運転手さん”
(鈴木恵美子さん)

掛川タクシー(株)に勤続して15年目。「タクシードライバーの勤務は残業もあり大変ですが、色々な人との出会いがあり、毎日が新鮮で感動の毎日です。これからも仕事と家庭を両立させて、人の力になれる人になりたいです」



スポーツ少年団
女の子も活発に (曾我小学校)



共学になった“掛川東高校”

平成9年度、男女共学校になるにあたり、校歌の歌詞や曲調を変えて男子を迎える準備をしたが、生徒の間では何の抵抗も無くスタート。文化面や体育面での活躍も目覚しく、今夏の高校野球県大会ではベスト8入りを果たした。現在の生徒数は男子342名、女子509名、合計851名。



職場の湯沸し室

自分が飲んだ茶碗や弁当箱を洗うのは当然のこと



多くなった男性美容師さん

「初めは男の人にやってもらうって抵抗があったけれど、じょうずな人ならどっちでもいいわ」
9人いるスタッフのうち3人が男性。お客も2割が男性だそうだ。
市内の他のヘアサロンでも同じ傾向がある。(写真は市内下俣の「hair rights」)



10年前に取材した“男性の保育士さん”

(野中徹先生はいま掛川こども園保育園部の園長先生)
「自分の役割を見つけ出せたからやってこられました。この仕事は自分にもあっていると思う。園行事や送迎にお父さんの姿が増えて、協力してくれるので嬉しいです。保育士になる夢を持った男子実習生が以前と比べて増えてきました」